

ダムやダム湖などを活用した インフラツーリズムの推進による水源地域の活性化

地域名 日光市
地域パートナー 国土交通省関東地方整備局
鬼怒川ダム統合管理事務所

1班 コミュニティデザイン学科
建築都市デザイン学科
社会基盤デザイン学科
グループ指導教員

阿久津日和
久保光平
柴田晴輝
清水隆文

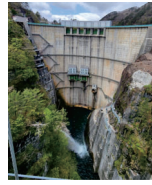
保土沢結梨
千葉晋之介
吉井日菜多

地域の背景

鬼怒川ダム群のある日光藤原地域・栗山地域は自然や温泉を活かした観光産業が盛んであるがCOVID-19によるパンデミックの影響もあり、来訪者は大幅に減少した。2023年現在、観光客数は上昇傾向にあるが、従来の水準には達していない。また、鬼怒川ダム群については「ダム」という生活に欠かせないインフラの重要性があまり理解されていないという課題もあり、インフラツーリズムの推進による課題の一举解決が求められている。

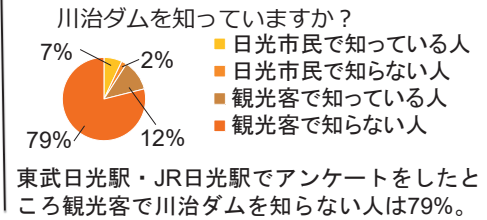
現状把握のための活動

〇現地訪問



鬼怒川ダム群を実際に訪れたところ、
・意外と面白い
・学べることが多い
・景色が良い
など、プラスの印象を持った。

〇アンケート調査



〇地域パートナーの方とのミーティング

地域パートナーの理想
・ダムの役割を多くの人に知ってもらう
・ダムを観光資源として地域を活性化

学生の調査
・ダムの魅力を知る人が少ない
・鬼怒川ダム群の知名度が低い

実際に訪れてもらい、ダムの魅力を知ってもらうことに力を入れる

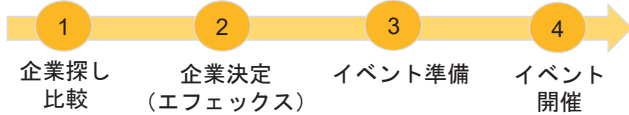
今年度の目的

「鬼怒川ダム群に訪れてもらうきっかけづくり」

現地調査から、実際に来てもらう必要性や鬼怒川ダム群を知ってもらう必要があることが分かった。以上の事から今年度は観光客に訪れてもらえるような仕組みを作ることにした。

方法

〇イベント開催までの流れ



「ダム」だけでは訪れてもらうことが難しいこと、現地足を運んでもらう必要があることの2点を踏まえ、イベントの開催を決めた。地域パートナーの方に、ダムとコラボできそうなイベントを提案し、数ある提案の中から、「地域を周遊できる」「ダムのことも知ってもらえる」の2点ができる「謎解き」イベントを開催することにした。なお、イベントのクオリティ向上のため、助成金を獲得し外部委託することにした。

〇イベント準備

- | | |
|--|---|
| <エフェックス>
・プロモーション
・ポスターの作成
・謎の作成 | <学生>
・SNS発信等の広報
・コラム作成
・イベント当日の運営 |
|--|---|

〇イベント概要

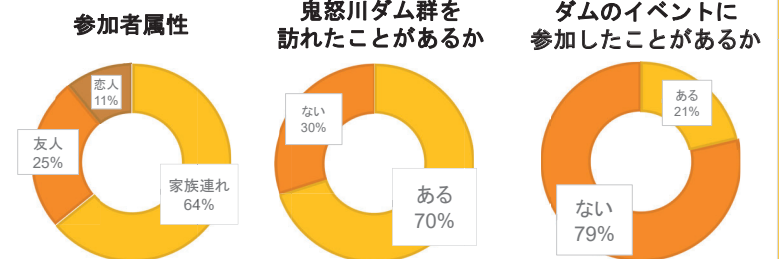
日程：10/28（土）29（日）
11/3（金）4（土）5（日）
場所：川治ダム・川治温泉街
対象者：小学生の子どもを持つ親子連れ
広報：プロモーション、プレスリリース、SNS発信、LRT
祝福事業、日光市内の小・中学校へのチラシの配布、
宿泊施設等へのポスター掲示・チラシ配布



結果・分析

対象：イベントクリア者 方法：Googleフォーム
詳しい結果・分析はコチラ→

イベントには524名の方が参加し、クリア者は参加者の6割程度の292名であった。クリア者が6割にとどまった原因として交通手段がなかったこと、温泉街を散策するついでに参加した人が多かったことがあげられる。



参加者の属性としては家族連れが76%、友人同士が17%。メインターゲットとしていた親子づれを誘致することに成功した。これは広報の小中学校へのチラシ配布、プレスリリースが効果的であったと言える。また、ダムの観点で見ると、鬼怒川ダム群に初めて訪れた人は全体の30%となった。60%の方がダムに来たことがある一方で、点検放流や見学会に参加した人は21%と低いパーセンテージとなっている。また、イベントを通してダムの魅力について知れたかという質問に対しては全体の12%の方（34名）が1~3のいずれかに回答していた。ダム側を回っていない人の事も考えると、ダムの魅力を十分に伝えることはできなかったと考えられる。



<成果>
効果的な集客方法と
広報手段の発見



<課題>
・ダム要素の不足
・リピーターの獲得

提案と今後の展望

最終目標 「地域の方自らが主体となってダムを活用し水源地域の活性化をしていく」
中間目標 「ダム単体で観光客を誘致する」
ダムを観光資源として誘客できれば地域活性化に繋がられる

「ダムマニア化」計画

現状では「ダム」だけでの集客は見込むことができない。そのため今後もダムと何かを掛け合わせ、鬼怒川ダム群及び川治地域に来る目的を創る必要がある。

- (例) ・各ターゲットに向けたイベントの開催 (新規・リピーター等)
・広報用プラットフォームの作成
→今回のイベントで獲得した観光客に継続的にダムに関するイベント情報を提供

※ここではダムマニアをダム関係のイベントに継続的に参加する人のことをさす

最終段階への道すじ

いまココ！

